

# 福生市町会長協議会 会報

# ちいさ

《発行》 福生市町会長協議会 会長 溝渕幸太郎

## 10月は「あいさつ運動」の強調月間です

福生市町会長協議会では、福生市と協力して、地域のコミュニケーションの活発化や高齢者や子どもの見守り活動、防犯・防災などの地域活動を活性化し、町会・自治会の加入率の向上を図るため、「あいさつ運動」に取り組みます。

昨年度の取り組みでは、あいさつ運動を盛り上げるための標語・ポスターの募集、軽スポーツ&とん汁会でのあいさつキャンペーンなどを行いました。



いってらっしゃい！気をつけて

# 町会長協議会は今年も

# 「あいさつ運動」

# を行います！

今年度も「あいさつ運動」に取り組む、地域住民同士が、気軽に声をかけあえるような環境をつくり、防犯、防災、環境美化などのさまざまな地域活動の活性化を目指します。

ポスターやのぼり旗、横断幕での呼びかけや市内の各町会・自治会でのあいさつ運動・声かけ運動のほか、10月を「あいさつ運動」の強調月間とし、10月28日（日）に開催される「ふれあいフェステ



あいさつでふれあいの輪が広がります

## ふれあいフェスティバルで あいさつキャンペーン

日時 10月28日（日）  
午前10時～午後4時  
場所 市営福生野球場  
内容 ・あいさつ大声コンテスト  
・あいさつ風を作ろう

楽しみながら、あいさつの輪を広げよう！

イバル」に参加し、「あいさつキャンペーン」を行います。会場では、町会長協議会のテントを設け、あいさつ大声コンテストやユニークな形のあいさつ凧作りなどを行い、大人から子どもまで楽しみながら、あいさつの大切さを改めて考えていただくきっかけになれば、と考えています。

ぜひ、「ふれあいフェスティバル」の福生市町会長協議会テントに遊びに来てください。

# わたしたちの 町会・自治会



おそろい風ひん

## 南田園の今昔

南田園一丁目町会 持田 洸

私は縁あって昭和46年にこの地を住まいとして購入しました。当時は一面の田んぼでした。この旧称「下河原地区」一帯は、昭和44年から50年にかけて土地区画整理事業が施行され、団塊の世代の家庭の多くが、ここに住宅を建て移り住み、急激に人口増加したものです。南田園としての町名変更や昭和57年の睦橋の開通、多摩川沿いの中央公園や南公園の設立整備事業などを経て、あれから約30年、現在南田園一、二、三丁目町会と福生団地を合わせて区域世帯数約2千3百世帯となり、住宅地域として様変わりをしています。

自然環境は、昭和37年頃から土手沿いに植えられた桜も見事に桜並木となり、毎年「桜まつり」が開催され、本年度第24回を迎えました。

桜の見頃には各種イベントもあり、5く6万人の人出で賑わっています。また、土手沿いも遊歩道として整備され、格好のウォーキング道路となっております。朝・夕には野鳥の声を聞きながら散策している人も多く見受け

られます。

住まいの環境づくりは、私ども町会の懸案事項で、安全で快適な暮らしは、町会の永遠のテーマとも言えます。この地域は多摩川に隣接し、かつ福生市の中で一番低い地域なので、特に水防に対する関心が深く、毎年消防署熊川出張所・地元消防団・市のご協力をいただいて、4地区合同企画で「水・防災訓練」を実施しております。

また、南田園全町会、福生団地自治会では、福生市の祭礼に合わせて「夏まつり」を実施し、盆踊り・お神輿・屋台・ビンゴゲームなどで皆さんが楽しんでいきます。



水・防災訓練

地域の文化行事として芽生え定着してきたように思います。将来、桜並木に巣箱をおいた子どもたちが、この地を「ふるさと」として思い起こしてくれるよう...そして自然と共生できる環境づくり...それが私の願いです。

## 力になれる町会を目指して

富士見台町会 溝渕幸太郎

当町会は、わらつけ街道と国道16号線に挟まれ、五丁橋通りの南に位置し、都営アパートと一般住宅の住民によって成り立つ、会員数420世帯程の町会です。町会会則には、この会は、「会員相互の交流・親睦を図り、文化的衛生的な環境の維持向上に力を注ぎ、明るく住みよい地域を目指す、民主的自主的団体である」と明記されており、この基本理念を基にして、会の運営が行われております。

毎年度当初開催される定期総会には、120名超の会員が出席し、提案事項に対して活発な討議が行われ、一年の反省と新年度の活動・行事が決められます。その際に、重点目標が提案されるのですが、例えば（これは数年にわたっての例ですが）今年「世代間の交流を密にする方

策を練り、高齢化社会に対応しよう」とか「子どもたちに目を向けよう」「子どもたちに声をかけよう」あるいは「子どもたちと話し合える間柄を創ろう」といったことが確認されます。

総会での決定を受けて、毎月開かれる理事会が、一つ一つの内容を検討し、活動・行事（夏まつり盆踊り大会、いも煮会、餅つき大会）等が実施されます。夏まつり盆踊り大会には、1千名を超える人々が集い、大変な賑わいを見せますし、他の行事にしても、400名超の参加者があり、交流の輪が大きな拡がりとなり、共助といった面でも、非常によい形が現れております。ここから生まれて来た力の結集が、防犯、防火、違反広告の撤去等を兼ねたパトロール（週1回）、防災訓練、防災研修会や子どもたちを中心とした年末夜回り等が実施され、防犯・防災意識の向上に繋がってきております。

今、特に関心の高い、中越沖地震の際の避難所の運営に、町会が大きな役割を果たしたと、新聞に掲載されてきました。いざという時、力になれる町会を

目指します。

町会未加入の方、メリットは入会して、一緒に活動して、その後必ず生まれてきます。私たちと一緒にやってみましょうよ！

毎年ぎわう夏まつり



どんど焼きの行事を残す…

志茂第一町会 村野 和男

志茂第一町会の区域は、福生のほぼ中央で新奥多摩街道と多摩川の間に位置しています。

昔から福生にお住まいの方は「志茂一」というより「中福生」ナカフサといった方がピンとくるかもしれません。

町会区域にある北田園地区は、かつて田んぼが広がっていて、

のどかな風景を感じるところでしたが、昭和40年代に区画整理事業が行われ、田園風景は一変し、住宅などが立ち並ぶようになりました。昔の面影はなくなってしまいました。昔の面影はなくなりましたが、新たに多くのご家庭が町会に加入され、新しい中福生になっていきます。

さて、町会では年間を通じ、いくつかの行事を行っています。中でも正月に行われる「どんど焼き」は、町内の子どもからお年寄りまで多くの方が参加する行事として、二十数年前から行われています。

この行事は町内の「ふたけた会」という団体が中心となって準備など行っているもので、このふたけた会というのは、昭和二桁生まれ（満25歳以上で昭和10年以降に生まれた人）で組織されており、発足から27年ほどたっていますが、現在町会活動の中心的な存在になっています。

このどんど焼きは、毎年暮れに竹や杉の葉などを集めてきて、多摩川の河原で組立作業が行われます。

骨組みは太い竹を使い、古材や茅を中に詰め込み、周囲は杉の葉を用いて高さ5メートルほどの円

錐形に仕上げます。

正月7日が過ぎるとしめ飾りや達磨などを町内の家庭から集めて飾り付けます。

毎年成人の日に点火され、多くの人々が集まり、赤々と燃え上がるどんど焼きの火にあたりながら、用意されたとん汁などを食べ、今年も健康でよい年であるようお願いながら、町内の親睦を深める行事として好評を得ています。

志茂第一町会には、ふたけた会のほかに福寿会・壮友会・J A女性部・子供会・神輿会・囃子連などの各種団体がありますが、特に町会の最大行事である夏祭りでは、

どんど焼き



各団体には積極的な協力をいただき、毎年盛大に行われてきております。

各種の町会行事を通じ、地域の交流や親睦を深めることにより、この町に住んでよかったと思えるような町会でありたいと願っております。

**町会の活性化を目指して**

本町第六町会 井上 孝

町会存続の意義は、“町会をいかに活性化させていくか”にあると思います。それでは小規模な町会を、より活性化させるためにはどうしたらよいか・・・。

これはなかなか難しいことですが、考えようによっては簡単かもしれません。それは町会員全員が必ず町会あるいは市の行事に参加することです。これを継続していけば変わります。

今までは、数少ない役員が頑張つて町会の運営を切り盛りしてきた経緯があります。これではますます役員に負担がかかり役員を引き受ける人がいなくなってしまうとのことから、この度、町会組織を一部手直しし、1. 環境美化委員会、2. 防災・防犯委員会、3. 青少年育成委員会、4. 交通安全

委員会、5. 「本六通信」編集委員会の5委員会を設置し、合計60名の委員を任命させていただきました。これにより、町会活動への参画意識を高めてもらうためです。早速、本六通信編集委員会では、町会の活動内容を知ってもらい、より認識してもらう目的で、会報「本六通信」を創刊し、町会会員全世帯に配布しました。

また、町内最大の行事である“夏祭り”を盛り上げるため、従来に比べ大幅に増やし92名の方に「祭礼委員」を委任し、活動しております。

以上のような変革を定着させ、ひとりひとりの負担を分散することにより本六町会の活性化が少しでも推進できればと、役員一同努力しております。

**町内美化活動**



運動会



花いっぱい運動

**町会・自治会の活動から**



もちつき大会



清掃活動

町内の融和を目指して

本町第八第二町内会 榎本 博人

私たちの町会は、福生市の北端に位置し、羽村市に隣接していません。

加美平一丁目と武蔵野台二丁目町会の範囲で、町会加入世帯数は450と、町会としては、中堅どころといえます。

地域には、第六小学校、第二中学校、福生病院などがあり、住環境としては比較的整ったところといえます。

元々は、本町第八町会として一つの町会でしたが、所帯数の増加により、およそ30年前に分離し、今日に至っています。

町会の最大の行事は、「夏祭り」ですが、昨年までは「納涼盆踊り大会」と「八雲神社祭礼」を同日開催してきました。

ここ2、3年の「夏祭り反省会」の意見を踏まえ、今年「納涼盆踊り大会」を「八雲神社祭礼」の1週間前に開催しました。「盆踊り」と「祭礼」の分離開催は町会始まって以来初めてのことでしたので、不行き届きの点も多々ありましたが、今後の反省点として、より一層充実した「夏祭り」にしていきたいと考えています。

町会の行事としては、春秋の「交通安全運動」「防犯防災パトロール」「新聞、雑誌等の資源回収」

「町内美化運動」「防災訓練」「防災施設見学会」「ベタンク大会」

「ゲートボール大会」等があり、

「子供会と遊楽会（青年部）」による「もちつき大会」等、各種団体による活動も活発に行われています。

今後とも、町内の融和をはかりながら、安心して住める町、安全なまちづくりに微力ながら尽くしていきたいと思えます。

まつりの準備



我が町会

加美第一町会 平原 正春

加美第一町会は、福生市でも西の端で、南側を玉川上水が流れる自然豊かな町会です。町会が小さい為か、大きな行事は昔から加美第二町会と合同で行っています。

毎年第一、第二の町会長が実行委員長となり、交代で行事を行います。多くの行事は実行委員会に参加してくださる各種団体の協力のもとに行われています。

先月の祭礼については、神輿の会の加寿美会、粹櫻会、輪加榎会そしてはやし連の協力のもと、準備や運行計画を進めました。

加美地区は八雲神社の祭礼の発祥の地（明治の初めまでは現在の上水公園あたりに、天王宮としてあったものを、現在の神明社に合祀した。）としての自負もあり、

天王囃子の太鼓を始め、神輿が三基と山車で、市内でもこれだけ揃った巡行は少ないのではないのでしょうか。特に、輪加榎会が中心に担ぐ女性神輿は、昨今の女性パワ

ーの現れでしょうか、ソイヤ、ソイヤの掛け声といなせな格好は必見です。夕刻からの豪雨の中でも盛り上がりを見せてくれました。

祭礼に先立って、7月13日・

広告掲載スペース

広告掲載スペース

## 町会・自治会に加入しましょう

町会長・自治会長一覧 (敬称略)	
町会・自治会名	町会長・自治会長名
福生熊川住宅自治会	中野静子
南町	五十嵐脩二
内出町	石川勘治
武蔵野町	小林尚司
福東町	小宇都紀男
南田園一丁目町	持田井勇
鍋ヶ谷戸第一町	石森井常貴
鍋ヶ谷戸第二町	片桐君夫
玉川台町	溝沼幸太郎
富士見台町	沼崎敬三
福栄町	高橋勉
熊川牛浜町	高橋工イ子
福生団地自治会	高瀬尾昌平
南田園二丁目町	上野昌久
南田園三丁目町	笹本家喜久
牛浜第一町	佐藤喜久雄
牛浜第二町	田村中野和義
原ヶ谷戸町	武藤子村寛
志茂第一町	種川村良暉
志茂第二町	川谷本上孝介
本町第一町	細笹井清千
本町第二町	榎尾本川博治
本町第三町	西細川谷利修
本町中央町	古平原正賢
本町第六町	
本町第七町	
本町第八第一町内	
本町第八第二町内	
武蔵野台一丁目町	
加美平団地自治会	
永田町	
長沢町	
加美第一町	
加美第二町	

14日は盆踊り大会も行われました。台風の影響で1日は中止になってしまいましたが、例年通り盛大に行うことが出来ました。

秋になると、10月には運動会、11月には文化祭の予定もあります。このような行事を通じて、町会内のコミュニケーションを向上させ、地域住民の連携が図れば、とっています。町会の行事はそれを提供する手段だと思っています。いつ起こるかも知れない大震災などの災害に備える意味でも、隣近所・町会がまとまるのが大切だと思っています。



神輿巡行

近所で  
手を取りあって  
助け合い

町会・自治会は、地域に住む人々が親睦や交流を深めることによつて連帯を培い、お互い助け合いながら、よりよい地域づくりや、住みごこちのよいまちづくりのために、自主的に組織された団体です。

現在市内では、34の町会・自治会があり、皆さんからの町会・自治会会費や、市からの補助金

### 編集後記

お読みいただきありがとうございます。ありがとうございました。

台風9号の記録的な大雨から、10日が過ぎても、玉川上水は濁ったままです。なか清流が戻りませんでした。

南公園も冠水で閉鎖されたままと聞きました。早急な復旧を願っています。

平成19年度の編集委員が決まりました。微力ながら、各町会活動の姿について紹介すべく、努力したいと思います。皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。

平成19年10月

編集委員長 森井常貴

編集委員 持田 洸 田中 守

千葉 進 井上賢司

をもとにして、文化・レクリエーション活動、自主防災、防犯・交通安全、福祉、環境美化、広報活動、情報提供などの活動を行っています。

加入される方は、各町会長・自治会長までご連絡ください。連絡先につきましては、福生市役所協働推進課（☎551・1590）へお問合せください。